

平成 27 年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業計画

1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

2 沿革

昭和 59 年 11 月 20 日、佐倉市宮小路町 12 番地に財団法人印旛沼環境基金として、民法第 34 条の規定に基づいて、千葉県知事の設立許可を受けて発足、平成 26 年 4 月 1 日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行。

3 事業活動の基本方針

印旛沼の水質浄化および流域の環境保全を推進するため、印旛沼流域住民の力を結集し、環境保全活動等の活性化と啓発を図る。

4 平成 27 年度の重点目標

印旛沼および流域内河川等で関係機関によって実施された各種環境調査の結果をとりまとめ、精査するとともに、補足的な調査を行い、その成果を印旛沼の環境保全活動に資する。

また、印旛沼の環境保全に関する印旛沼流域住民の意識高揚のため啓発活動とともに、市民による広範な活動を支援する。

5 事業内容

(1) 印旛沼および流域における調査研究（定款第 4 条第 1 項第 1 号関係）

① 水質調査等結果の取りまとめ（継続）

印旛沼および流域の河川・排水路等で千葉県および流域市町が実施した水質等に関する調査結果を広く収集し、取りまとめる。それらの結果は、平成 28 年度発行予定の「平成 27・28 年版いんば沼白書」に掲載予定。

② 各種環境情報等の収集と取りまとめ（継続）

印旛沼等の環境保全に関わる各種情報（例えば、流域市町が対処・処理した環境に関する問題・苦情等、助成した事業や水環境関連行事、啓発活動など）について取りまとめる。それらの結果は、基金が隔年発行する「いんば沼白書」等に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

③ 動植物（生態系）に関する調査研究（継続）

印旛沼の汚濁機構に関する基本的な知見や環境保全に対する住民への効果的な啓発活動等に資するため、独自に各種調査を行う。また、必要に応じて印旛沼および流域で調査・研究を行っている専門家や、NPO 法人を含む一般市民団体の協力を得て、調査を行う。

平成 27 年度においては、「印旛沼の水草の生育分布」が平成 25 年 10 月の台風の影響によって大きな変化が推測されることから、平成 26 年度に続き、同調査を行う。

・調査予定時期：7 月～8 月の間に北印旛沼および西印旛沼のそれぞれにおいて 1 回ずつ行う。

・調査協力者：今井正臣氏（水草専門家）

(2) 講習・学習会および観察会（定款第4条第1項第2号関係）

① 講習・学習会等の講師派遣（継続）

流域内・外の市町、学校（法人）および一般市民団体等（NPO 法人を含む）の要請を受け、印旛沼に関する学習会、講演会および講習会等に講師を派遣する。

② 屋形船によるいんば沼観察会（継続：印旛沼水質保全協議会と共催）

印旛沼流域住民を対象に屋形船で沼および周辺の自然を観察する。

・対象：印旛沼流域内の住民、印旛沼水質保全協議会加入団体

〔募集人数：168名（内訳：（18名×4隻）＋（24名×4隻））〕

・開催回数：年1回〔7月23日（木）、予備日：7月24日（金）〕

・講師：瀧 和夫（千葉工業大学名誉教授）、今井 正臣（元環境基金水質研究員）、本橋 敬之助（環境基金上席研究員）、田中 正生（環境基金研究員）の4名。

③ いんば沼の探検（継続：印西市青少年相談員連絡協議会と共催）

印西市青少年相談員連絡協議会（印旛中地区）と地区の小・中学生が屋形船で沼の動植物を観察、また沼の汚れ具合を調査する。

・対象：印西市印旛中地区の小・中学校生

・募集人数：（24名×2隻）と（18名×2隻）の計84名（青少年相談員と講師を含む）

・開催回数：平成27年春～初夏に1回

・講師：瀧 和夫（千葉工業大学名誉教授）、本橋 敬之助（環境基金上席研究員）

④ 親子でいんば沼を学ぶ（新規：佐倉市と共催）

佐倉市在住の親子が屋形船で沼の水質の検査実習を行う

・対象：佐倉市民の親子（小学生以上の子供と親）

・募集人数：（24名×1隻）と（18名×1隻）の計42名

・開催：平成27年春～初夏に1回

・講師：本橋 敬之助（環境基金上席研究員）、田中 正生（環境基金研究員）

⑤ 印旛沼周辺の自然観察会（新規：印西市と共催）

印西市内の小学生を対象にして印旛沼周辺での自然観察会を開催する。

・対象：印西市内の小学生

・募集人員：50名

・開催：平成27年初夏に1回

・講師：本橋 敬之助（環境基金上席研究員）、他

⑥ 水環境学習支援（新規：印旛沼流域水循環健全化会議と連携）

八千代市立大和田小学校4学年生を対象にして、印旛沼周辺での開催、また屋形船で行う環境学習を支援する。

・対象：八千代市立大和田小学校4学年生

・人数：110名

・開催：平成27年初秋に1回

・講師：印旛沼流域水循環健全化会議委員、他

⑦ 印旛沼環境基金公開講座（継続：佐倉市と共催）

- ・対 象：印旛沼流域内・外の一般住民（一講座当たり募集定員：100名）
- ・場 所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
- 《開 催》
 - ・第1回：平成27年7月25日（土）14：00～16：00（内諾済み）
講座（その1）：いんば沼圏の活性化を目指して？千葉県取り組みと成果、そしてこれから・・・
講師：印旛沼流域水循環健全化会議委員（未定）
 - ・第2回：平成27年9月5日（土）14：00～16：00（内諾済み）
講座（その2）：いんば沼・流域発の文化
講師：内田 儀久（郷土歴史家）
 - ・第3回：平成27年9月26日（土）14：00～16：00
講座（その3）：いんば沼の自然環境の変移と誘因
講師：本橋 敬之助〔（公財）印旛沼環境基金・上席研究員〕
 - ・第4回：平成27年10月31日（土）14：00～16：00（内諾済み）
講座（その4）：空から眺めたいんば沼・流域の貌
講師：近藤 昭彦（千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授）

(3) 啓発・宣伝（定款第4条第1項第2号関係）

① ホームページの公開（継続）

インターネットを利用して、当環境基金の事業等についての紹介と同時に、印旛沼および流域の環境保全等を住民に対して啓発するとともに、他団体との情報交換を行う。

② 「水辺の風景画コンクール」の開催（継続）

印旛沼流域の小・中学校の児童および生徒が湖沼や河川等でみた、また触れたなどの体験を描いた水辺の風景画を募集し、審査に通った作品を佐倉市立美術館で展示（展示期間：平成27年10月27日～11月1日）、また優秀な作品については表彰し、流域の市町を巡回して一般市民の方々に鑑賞してもらう。

《表彰式》

- ・日 時：平成27年11月1日（日）14：30～15：30
- ・場 所：佐倉市立美術館4階ホール

③ 「印旛沼連携プログラム」サポート企業の登録等（継続）

千葉県の「印旛沼連携プログラム」にサポート参加希望の企業の登録等に関する事務を行う。

④ 刊行物等の編集・発行（継続）

》》 雑誌「いんば沼」（第36号）

- ・発行部数：4,000部（委託印刷）
 - ・発行予定：5月頃
 - ・配布先：流域市町、県、その他関係機関、一般住民
- 《参考：執筆者》（内諾済み）

- ・浅野 俊雄（公益財団法人 日本野鳥の会）

- ・高山 順子(千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター)
- ・本橋 敬之助(公益財団法人 印旛沼環境基金)

⑤ 刊行物等の頒布 (継続)

環境基金編集・発行の刊行物等を県や、市町およびその他の関連機関が開催する環境関連行事等において無料配布、または有料で頒布する。

(4) 環境保全団体等への助成 (定款第 4 条第 1 項第 3 号関係)

① 助成金の交付 (継続)

印旛沼および流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学および NPO 法人を含む一般市民団体等を対象に助成金を交付する。

② 助成事業成果報告会の開催 (継続)

助成金を交付した団体を一堂に会し、事業成果報告会を開催し、講師から講評していただき、今後の印旛沼における更なる環境保全活動の向上に繋げる。

- ・日 時：平成 28 年 1 月 22 日 (金)
- ・場 所：印旛合同庁舎 2 階大会議室
- ・講 師：未 定